

分野	景観まちづくり、景観計画、ウォーターフロント計画
現職名	日本大学理工学部まちづくり工学科・教授
アドバイス できる分野	住民参加型の景観まちづくり、景観まちづくりワークショップの実施、景観計画策定、水辺をいかした景観まちづくり（ウォーターフロント計画）
経歴等	<p>■学位；博士(工学)</p> <p>■略歴；平成10年3月に日本大学大学院理工学研究科博士課程修了、同時に博士(工学)の学位取得。その後、日本大学理工学部助手・専任講師、米国ハワイ州立大学海洋地球科学研究所・客員研究員を経て、日本大学理工学部まちづくり工学科・准教授、平成26年4月より教授となり、現在に至る。</p> <p>■受賞歴</p> <p>(1)2012年5月「日本都市計画学会・年間優秀論文賞」 「海岸空間とその背後空間を一体的に捉えた新たな海岸まちづくりに向けて－米国ハワイ州の“海岸線セットバックルール”に着目して－」</p> <p>(2)2006年7月「日本沿岸域学会出版・文化賞」 「都内運河の新たな活性化方策としての“フローティングレストラン”実現化プロジェクト」</p> <p>(3)2003年1月「日本建築学会関東支部論文コンペ・最優秀賞」 「都市臨海部を核とした環境配慮型都市再生のパラダイム」</p> <p>(4)1999年7月「日本沿岸域学会・論文賞」 「東京港臨海部におけるパブリックアクセスに関する評価」</p> <p>■主な論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海岸空間とその背後空間を一体的に捉えた新たな海岸まちづくりに向けて－米国ハワイ州の海岸線セットバックルールに着目して－、日本都市計画学会学術研究論文集 No.45、2011年11月 ・「景観法に基づく景観地区の実態に関する研究-景観地区制度の運用初動期に着目して-、土木学会景観デザイン研究論文集 Vol.6、2010年6月 ・「近江八幡市における景観法に基づく景観計画の策定プロセスと運用実態に関する研究」、土木学会景観・デザイン研究論文集 No.3、2007年12月 <p>■主な著書：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「住民がつくるおしゃれなまち-近郊都市におけるシビックプライドの醸成」日本都市センター、「コンパクト建築設計資料集成・都市再生編（ウォーターフロント再生）」丸善出版、「都市の計画と設計」共立出版、「海外ウォーターフロント開発事例」港湾空間高度化環境研究センター、「日本沿岸域学会編：沿岸域環境事典」共立出版、「環境と資源の安全保障47の提言」共立出版ほか
活動実績	<p>■主な委員会活動</p> <p>国土交通省新みなとまちづくり研究会委員、静岡県三保の松原白砂青松保全技術会議委員、静岡県景観アドバイザー、越谷市景観評価委員会委員長、越谷市景観アドバイザー、戸田市景観審議会副会長、流山市景観アドバイザー、荒川区景観アドバイザー、荒川区都市計画審議会委員、市原市都市計画審議会委員、千葉市建築審査会会長代理、土木学会景観デザイン委員会委員ほか多数。</p>
ホームページ	https://www.cst.nihon-u.ac.jp/research/researcherinformation/researcher10/
先生から一言	ところ変わればその地域の成り立ちも大きく変わってきます。他地域の借り物ではない、その地域独自の歴史・文化・景観資源等をあぶり出し、その地域ならではの「ご当地型景観まちづくり」を地域住民の皆様とともに展開します。